



仏パリ発、2010年4月29日付発表のニュースリリース参考日本語抄訳

2010年5月26日

## ダッソー・システムズ、2010年第1四半期決算を発表

### 恒常為替レートベースで新規ライセンス収入が19%増加

仏パリ発、2010年4月29日ーダッソー・システムズ(Euronext Paris: #13065, DSY.PA)は、2010年3月31日を期末とする第1四半期のIFRSベース、未監査の決算を発表しました。これらの決算は、2010年4月28日に同社の取締役会で確認されました。

#### 財務ハイライトの概要 (未監査)

- 第1四半期の決算、ダッソー・システムズの目標値をわずかに上回る
- 非IFRSベースのEPSは、16%増の一株当たり0.43ユーロ
- 非IFRSベースの営業利益率は、270ベース・ポイント上昇
- 営業活動からのキャッシュフローは1億3,300万ユーロ
- ダッソー・システムズは2010年3月31日にIBM PLM事業の買収を完了
- ダッソー・システムズは為替レートの変動を受け、2010年の一株当たりの純利益の目標値を上方修正

#### 2010年第1四半期決算の概要 (未監査)

単位:100万ユーロ、一株当たりのデータを除く	IFRS			非IFRS		
		増減	増減 恒常為替レート*		増減	増減 恒常為替レート*
第1四半期総収入	311.9	1%	1%	312.0	0%	1%
第1四半期ソフトウェア収入	279.7	3%	4%	279.8	3%	3%
第1四半期EPS	0.32	33%		0.43	16%	
第1四半期営業利益率	15.9%			22.1%		

\*恒常為替レートベース

ダッソー・システムズの社長兼最高経営責任者であるベルナール・シャーレスは次のように述べています。「第 1 四半期の事業活動は、弊社の主要ブランド全体で拡大しました。とりわけハイテクやエネルギー企業で好調な動きが見られ、その結果 ENOVIA の新規ライセンス収入が恒常為替レートベースで 29%増加しました。第 1 四半期はまた、営業レバレッジの改善ならびに好調な営業活動からのキャッシュフローが際立ちました。」

「2010 年は徐々に回復しつつある経済環境による恩恵の枠を超え、ダッソー・システムズの成長の新たな段階が始まる年となります。これは、弊社のバージョン 6 のオンライン・アーキテクチャの採用や、弊社のお客様層の拡大、さらにお客様との緊密な連携を行う販売経路の拡充によって促進されます。」

### 2010 年第 1 四半期財務レビュー

(未監査)

単位: 100 万ユーロ	IFRS			非 IFRS		
	2010 年第 1 四半期	2009 年第 1 四半期	増減 恒常 為替レート *	2010 年第 1 四半期	2009 年第 1 四半期	増減 恒常 為替レート *
総収入	311.9	309.7	1%	312.0	310.7	1%
ソフトウェア収入	279.7	271.8	4%	279.8	272.8	3%
サービスその他の収入	32.2	37.9	(14%)	32.2	37.9	(14%)

PLM ソフトウェア収入	208.8	200.7	4%	208.9	201.7	4%
メインストリーム 3D ソフトウェア収入	70.9	71.1	1%	70.9	71.1	1%

南北アメリカ	91.7	97.4	(0%)	91.8	97.8	(0%)
ヨーロッパ	140.9	137.6	2%	140.9	137.7	2%
アジア	79.3	74.7	2%	79.3	75.2	1%

\*恒常為替レートベース

第 1 四半期の決算は弊社の目標値をわずかに上回りました。新規ライセンス収入は恒常為替レートベースで 19%増となりました。予測通り、継続的ライセンス、保守、製品開発収入及びサービス収入は若干下回った結果、非 IFRS ベースの総ソフトウェア及び非 IFRS ベースの総収入は、恒常為替レートベースでそれぞれ 3%増及び 1%増となりました。

- IFRS 及び非 IFRS ベースの新規ライセンス収入は報告ベースで 18%増、恒常為替レートベースで 19%増の 7,610 万ユーロとなりました。
- 新規ライセンス収入は、CATIA、ENOVIA 及び SolidWorks を含む弊社の主要ソフトウェア・アプリケーション群の新規ライセンス収入がすべて二桁成長を達成し、幅広い基盤のもと成長しました。

- 新規事業活動は、中堅市場向けの PLM チャンネルが牽引する形で、弊社の 3 つの販売チャンネルそれぞれにおいて前年を上回る成長を記録しました。
- 第 1 四半期において総ソフトウェア収入の 73%を占める IFRS 及び非 IFRS ベースの経常ソフトウェア収入は、前年同時期と比べ恒常為替レートベースで 1%減となりました。
- IFRS ベースの営業利益率は 290 ベーシス・ポイント上昇し、15.9%となりました。非 IFRS ベースの営業利益率は前年同時期の 19.4%と比べ 270 ベーシス・ポイント上昇し、22.1%となりました。これは、弊社のコスト及び効率化プログラムの継続的効果により支出が減少したこと、ならびに為替のプラス効果を反映したものです。弊社は、通年の非 IFRS ベースの営業利益率について約 100 ベーシス・ポイントの上昇を目標としています。
- IFRS ベースの希薄化した一株当たりの純利益は 0.24 ユーロから 33%増の 0.32 ユーロとなりました。非 IFRS ベースの希薄化した一株当たりの純利益は前年同時期の 0.37 ユーロと比べ、営業利益率の拡大、及び為替のプラス効果により 16%増の 0.43 ユーロとなりました。
- 弊社は、2010 年 3 月 31 日をもってダッソー・システムズの PLM ソフトウェア・アプリケーション・ポートフォリオを包含する IBM PLM 販売及び顧客サポート部門の買収を完了しました。買収価格は継承債務を差し引いて 6 億米ドルでした。4 月上旬、弊社は、IBM PLM 事業買収の一部の資金調達のため、日本において 145 億円(1 億 6,000 万米ドルに相当)のローン・ファシリティ契約を締結しました。

## 主なビジネス及びコーポレート・ハイライト

### ダッソー・システムズとIBMは、IBM PLM Sales Operation (PLM 販売事業) のダッソー・システムズへの統合取引を完了

ダッソー・システムズとIBMは、ダッソー・システムズのPLM ソフトウェア・アプリケーション・ポートフォリオに関連するIBM PLM の営業および顧客サポート部門の取引完了を発表しました。本取引により、IBM はミドルウェア、ビジネス・トランスフォーメーションおよびアプリケーション・サービス、そしてダイナミック・インフラストラクチャーを通じて、PLM インテグレーションに注力していきます。また、ダッソー・システムズPLM ソリューションのお客様に対しては、今後は一つの傘のもとで強力かつ統一された市場展開モデルによるメリットを生かし、ダッソー・システムズの全ポートフォリオおよび価値のある提案を総合的に提供していきます。研究開発、営業およびサポートのチームが完全に統合されることにより、ダッソー・システムズはお客様にとってより身近な存在となります。これらの取り

組みにより、お客様とのビジネスの効率化を図り、顧客満足度の向上に努めます。

### **VF Corporation、ダッソー・システムズの PLM ソリューションを採用**

グローバルなライフスタイル・アパレル・ブランドの大手企業である VF Corporation が、ダッソー・システムズの ENOVIA V6 PLM ソリューションを、同社のグローバルなアパレル開発及び調達のプラットフォームとして採用しました。有数の PLM ベンダー企業やアパレル業界向けに特化したテクノロジーを提供する企業とのコンペの結果、ダッソー・システムズの ENOVIA が選ばれました。VF 社は、同社の多様な製品ポートフォリオやグローバルなプレゼンスおよび成長計画に適合し、コラボレーションを強化するための実証されたソリューションを必要としていました。

### **Meyer Werft、ダッソー・システムズの V6 PLMを採用**

クルーズ船建造の世界的大手企業である MEYER WERFT が、コラボレーティブな製品開発のためにダッソー・システムズの V6 PLM プラットフォームを採用しました。クルーズ船の建造では、設計と生産ロジスティクスにおいて 1000 万点以上の部品を管理する必要があり、そのため PLM システムの機能と性能に対し極めて高い要求が生じます。また、造船所における設計及び建造プロセスの時間や品質、コストの向上に向け、IBM Global Business Services (GBS) が、トランスフォーメーション・コンサルティング、導入、及びインテグレーション・サービスを提供します。

### **Dong Fang Boiler、グローバルなコラボレーションをサポートするための初の PLM ソリューションとしてダッソー・システムズを採用**

発電所ボイラーを供給する中国の大手企業である Dong Fang Boiler Group CO., LTD. (DBC) は、発電所ボイラー業界において中国市場初となるコラボレーティブなデータ管理プラットフォームを構築するため、ダッソー・システムズの ENOVIA V6 ソリューションを採用しました。本ソリューションにより DBC は、同社の設計から製造、顧客サービスに至る製品工程全体を通じ、コラボレーティブなデータ管理を実施し、設計及び生産の全体効率を高めます。

### **InnerPulse、ダッソー・システムズのリアリスティック・シミュレーションを活用し、医療機器のイノベーションを加速**

心調律障害患者のための新テクノロジーを開拓する医療機器メーカーの InnerPulse は、同社が SolidWorks CAD ソフトウェアで設計した技術開発を促進するため、SIMULIA の Abaqus 有限要素解析 (FEA) を採用しました。

## **ビジネスの展望**

Senior Executive Vice President 兼 CFO であるティボ・ドゥ・テルサン(Thibault de Tersant)は次のように述べています。「第 1 四半期は、IBM PLM 事業の買収を完了し、27 カ国のダッソー・システムズのオフィスに新しい同僚を迎えることができた素晴らしい四半期となりました。揺るぎない実行力とお客様第一義に立った行動理念によって、これらの取り組みは営業活動を妨げることなく遂行され、ダッソー・システムズは弊社の目標に合致する形で第 1 四半期の成果をおさめることができました。」

「弊社の新規ライセンス収入が二桁成長を達成するなど、これまで以上に明るい材料が見受けられる中、景気は緩やかに回復するという弊社の見方を環境全体で裏付ける形となっています。このような背景でもなお弊社は、営業利益率及び一株当たりの純利益の成長を実現することができました。第 1 四半期において、弊社の非 IFRS ベースの営業利益率は 270 ベーシス・ポイント上昇し、非 IFRS ベースの一株当たりの純利益は 16%増となりました。」

「このような実績と展望をベースに、弊社は 2010 年の非 IFRS ベース、恒常為替レートベースの収入の目標成長値及び営業利益率の目標値を再確認いたします。弊社は、より有益な為替環境を反映し、非 IFRS ベースの一株当たりの純利益の目標幅を、約 18-23%増の約 2.19-2.28 ユーロに引き上げます。」

#

#### ■ダッソー・システムズについて

ダッソー・システムズは、3D と PLM ソリューションにおけるワールド・リーダーとして、80 カ国以上、115,000 以上のお客様にそのバリューを提供しています。1981 年から 3D ソフトウェア市場におけるパイオニアであるダッソー・システムズは、業界プロセスを支援する PLM アプリケーション・ソフトウェアおよびサービスを開発・販売し、コンセプト設計からメンテナンス、リサイクルに至る全製品ライフサイクルにおける 3D ビジョンを提供します。提供内容は、バーチャル製品設計のための CATIA、3D メカニカル設計のための SolidWorks、バーチャル・プロダクションのための DELMIA、バーチャル・テストのための SIMULIA、グローバルなコラボレーティブ・ライフサイクル・マネージメントの ENOVIA、オンライン 3D ライフライク・エクスペリエンスの 3DVIA が含まれます。ダッソー・システムズの株式はユーロネクスト・パリ (#13065, DSY.PA) に上場しており、ダッソー・システムズの米国預託証券(ADR)は、米国の店頭市場(OTC)で取引が可能です(DASTY)。その他詳細については次のサイトをご覧ください: URL: <http://www.3ds.com> (英語)、<http://www.3ds.com/jp> (日本語)

CATIA、DELMIA、ENOVIA、SIMULIA および 3DVIA は、ダッソー・システムズ(Dassault Systèmes)もしくはダッソー・システムズの子会社の米国およびその他の国における登録商標です。その他の製品名および会社名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

当ニュースリリース参考日本語抄訳に関するお問い合わせ先:

ダッソー・システムズ株式会社

マーケティング コミュニケーション 五十嵐 幹子

Tel: 03-5442-4138 e-mail: [mikiko.igarashi@3ds.com](mailto:mikiko.igarashi@3ds.com)